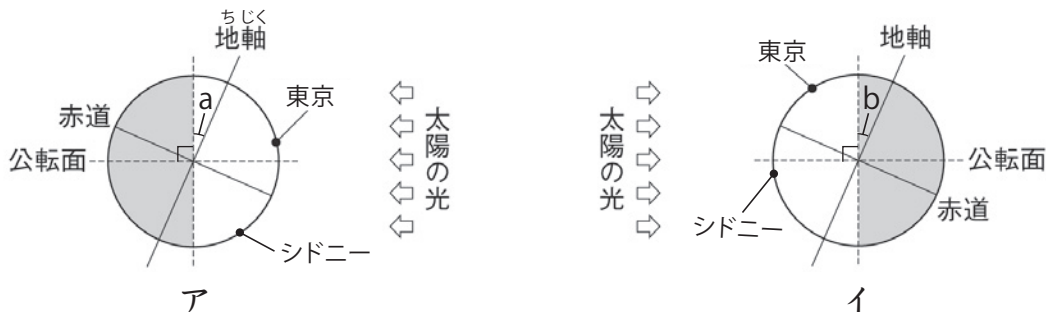


# 天体の1年の動き(2)

名前

1 下の図は、夏至の日と冬至の日の地球に、太陽の光がどのように当たるかを表したものである。以下の問いに答えなさい。

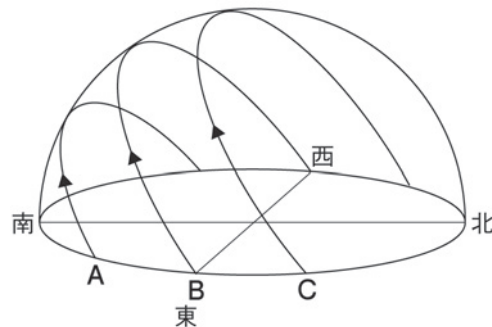


- (1) アとイはそれぞれ「夏至の日の地球」か、それとも「冬至の日の地球」か。
- (2) 東京から太陽を観測したとき、南中高度が最も高くなる日は夏至と冬至のどちらか。
- (3) アにおいて、北半球にある東京と、南半球にあるオーストラリアのシドニーの季節はそれぞれ、春、夏、秋、冬のうちのどれか。
- (4) イにおいて、北半球にある東京と、南半球にあるオーストラリアのシドニーの季節はそれぞれ、春、夏、秋、冬のうちのどれか。
- (5) aとbの角度は同じか、それとも異なっているか。
- (6) aの角度は何度か。正しいものを下のウ～カから選んで記号を書きなさい。  
ウ) 12.3°      エ) 23.4°      オ) 35°      カ) 66.6°
- (7) 昼と夜の長さがほぼ等しくなるのは何の日か、2つ書きなさい。

(1)	ア	夏至の日の地球		イ	冬至の日の地球		(2)	夏至	
(3)	東京	夏	シドニー	冬	(4)	東京	冬	シドニー	夏
(5)	同じ		(6)	エ		(7)	春分の日、秋分の日		

2 右の図は、日本から観測した季節ごとの太陽の日周運動の様子を表している。以下の問いに答えなさい。

- (1) 春分、夏至、秋分、冬至のそれぞれの日の太陽の道すじとして正しいものをA～Cから選び、記号を書きなさい。ただし、同じ記号を何度書いてもよい。
- (2) 季節によって太陽の道すじが変化するのはなぜか。「地軸」「公転」という言葉を使って簡単に説明しなさい。



(1)	春分	B	夏至	C	秋分	B	冬至	A
(2)	例) 地軸を傾けたままで地球が(太陽のまわりを)公転しているから。							